

## 「東京大学 28 位、京都大学 55 位 英教育誌世界大学ランキング」

英教育誌「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション」(THE)は10月9日、「世界大学ランキング2025」を公表した。1位の英国オックスフォード大学、2位の米国マサチューセッツ工科大学以下、最上位の10大学を英米2カ国が占めるなど欧米主要国の有力大学が高評価を得ている結果は前年と同じだが、12位の清華大学、13位の北京大学をはじめ中国の大学の高い順位が目立つ。前年、順位向上が目立った日本は、最上位の東京大学が順位を一つ上げて28位になったほか、前年同様、京都大学、東北大学、大阪大学、東京工業大学を合わせた5校が200位内に入った。

### 日本 200 位内に前年と同じ 5 校

近年、低迷が続いていた日本は、前年のランキングでは幾分、改善が見られた。前々年に200位内に入ったのは東京大学と京都大学の2校のみだったが、前年、東北大学、大阪大学、東京工業大学が200位内に浮上し、5校に増えた。この理由はTHEの評価法が一部変更されたためとされており、今回も同じ5校が200位内に並んだ。東京大学は5つの評価指標のすべてで前回と同等か上回る評価を受け、順位も一つ上げて28位となった。以下、京都大学55位(前年55位)、東北大学120位(同130位)、大阪大学162位(同175位)、東京工業大学195位(同191位)となっている。東北大学は「研究の質」を除く残る四つの指標ですべて前年より評価を上げ、大阪大学も「教育(学習環境)」と「研究の質」の二つの指標で前年より評価を高めている。



東京大学安田讲堂

10月1日に東京医科歯科大学と統合し、東京科学大学として新しい歩みを始めた東京工業大学は今回のランキングも前年同様、東京工業大学として評価された。「教育（学習環境）」と「研究環境」で前年より評価を挙げたものの「研究の質」と「国際性」で評価を下げたのが響き、前回より順位を四つ落とした。200位内の5校は、すべて「企業との関係」の評価が100点満点であるのも目を引く。東北大学が前年の99.9から100.0点に上げたほかは4校とも前年から100.0点を維持している。

東京工業大学と統合した東京医科歯科大学も元の大学として評価対象となっている。順位は、前年と同じ401-500位で、日本の大学では10番目の評価だ。東京医科歯科大学以外では、名古屋大学201-250位、九州大学301-350位、北海道大学351-400位、筑波大学351-400位が500位内に入っている。東京医科歯科大学を含めいずれも前年のランキングと順位は変わらない。

### 順位上昇目立つ中国本土大学

上位 200 位内に入った大学数を見ると、米国が前年より 1 校減ったものの 55 校と今回も最多。2 位は英国で前年と同数の 25 校、3 位は 26 位のミュンヘン工科大学をはじめとする 20 校（前年 21 校）のドイツと続く。次いで多いのは、中国本土。13 校と校数は前年と同じだが、清華大学が前年同様 12 位を維持し、北京大学が前年より順位を一つ上げて 13 位となり、英国、米国の大学が占める上位 10 校にさらに迫った。

中国は、清華大学、北京大学に続き、復旦大学が 36 位（前年 44 位）、浙江大学 47 位（同 55 位）、上海交通大学 52 位（同 43 位）、中国科学技術大学 53 位（同 57 位）、南京大学 65 位（同 73 位）と 100 位内に 7 校が並ぶ。このほか武漢大学 134 位（同 164 位）、北京師範大学 146 位（同 177 位）、ハルビン工業大学 152 位（同 168 位）、同済大学 154 位（同 185 位）、華中科技大学 166 位（同 158 位）、南方科技大学 183 位（同 201-250 位）と、200 位内に入った 13 校中、10 校が前年より順位を上げた。THE は中国が世界的な研究の影響力をさらに高めている、とみている。

#### オーストラリア有力校は順位低下

THE の世界大学ランキングで中国とともに近年、躍進が目立つのがオーストラリアだ。上位 200 位内に入った校数も 10 校と、米、英、ドイツ、中国、オランダに次いで多い。ただし、メルボルン大学 39 位（同 37 位）、モナシュ大学 58 位（同 54 位）、シドニー大学 61 位（同 60 位）、オーストラリア国立大学 73 位（同 67 位）、クイーンズランド大学 77 位（同 70 位）と上位 5 校が軒並み前年より順位を落としているのが目を引く。世界の研究者たちの評判と国際性に関する評価が低下したため、と THE は言っている。

国・地域別の比較で英、米 2 国が強いという前年の状況に大きな違いはないように見える。しかし、米国は上位 100 校に入った大学は 38 と前年より 2 校増えたものの、101 位から 200 位内には 17 校しかなく、過去最低。英国の大学は多くの研究者による評判調査で研究に関する評価の低下がみられる。こうした状況も指摘し、この 4 年間で上位 200 位内の校数が米国は 59 から 55 に、英国も 29 から 25 に減った一方、中国と日本だけが校数を増やしていることを、THE は強調している。さらにブラジル、サウジアラビア、アラブ首長国連邦の大学が新たに上位 200 位内に入ったことも今回の特徴に挙げている。

「世界大学ランキング 2025」 トップ 200 に入った大学数が上位 14 の国・地域

国・地域	大学数 (前年)	最上位大学名	最上位大学の世界ランキング順位
米国	55 (56)	マサチューセッツ工科大学	2
英国	25 (25)	オックスフォード大学	1
ドイツ	20 (21)	ミュンヘン工科大学	26
中国	13 (13)	清華大学	12
オランダ	11 (11)	デルフト工科大学	=56
オーストラリア	10 (11)	メルボルン大学	39
カナダ	8 (8)	トロント大学	21
スイス	6 (7)	スイス連邦工科大学チューリヒ校	11
韓国	6 (6)	ソウル大学	=62
日本	5 (5)	東京大学	28
香港	5 (5)	香港大学	35
スウェーデン	5 (6)	カロリンスカ研究所	49
フランス	4 (4)	PSL 研究大学	42
ベルギー	4 (4)	ルーベン・カトリック大学	43

(タイムズ・ハイヤー・エデュケーション「World University Rankings 2025」  
「World University Rankings 2024」から作成) : 数字の前の=は、同順位 (タイ) を示す

「THE 世界大学ランキング 2025」 トップ 200 内のアジア・太平洋大学

世界順位	前年順位	QS ランキング 2025 順位	大学名	国・地域
12	12	20	清華大学	中国
13	14	14	北京大学	中国
17	19	8	シンガポール国立大学	シンガポール
28	29	=32	東京大学	日本
30	32	15	南洋理工大学	シンガポール
35	35	17	香港大学	香港
=36	44	39	復旦大学	中国
39	37	13	メルボルン大学	オーストラリア
44	53	36	香港中文大学	香港
=47	=55	=47	浙江大学	中国

52	43	45	上海交通大学	中国
=53	57	=133	中国科学技術大学	中国
55	=55	=50	京都大学	日本
=58	54	37	モナシュ大学	オーストラリア
61	60	18	シドニー大学	オーストラリア
=62	62	31	ソウル大学	韓国
65	73	145	南京大学	中国
66	=64	=47	香港科技大学	香港
=73	67	30	オーストラリア国立大学	オーストラリア
77	70	=40	クイーンズランド大学	オーストラリア
=80	82	62	香港城市大学	香港
82	83	53	K A I S T (韓国科学技術 院)	韓国
83	84	19	ニューサウスウェールズ 大学	オーストラリア
=84	=87	57	香港理工大学	香港
=102	=145	=127	成均館大学	韓国
=102	76	56	延世大学	韓国
120	=130	107	東北大学	日本
=128	=111	=82	アデレード大学	オーストラリア
=134	=164	=194	武漢大学	中国
=146	=177	271	北京師範大学	中国
=149	=143	77	西オーストラリア大学	オーストラリア
151	149	98	浦項工科大学	韓国
=152	=168	=252	ハルビン工業大学	中国
=152	=150	65	オークランド大学	ニュージーランド
=154	=185	192	同濟大学	中国
=154	148	88	シドニー工科大学	オーストラリア
162	=175	86	大阪大学	日本
=166	=158	300	華中科技大学	中国
=172	=152	68	国立台湾大学	台湾
178	180	=133	マッコーリー大学	オーストラリア
=180	=193	245	マカオ大学	マカオ
=183	201-250	284	南方科技大学	中国

=189	201-250	67	高麗大学	韓国
195	=191	=84	東京工業大学	日本

(タイムズ・ハイヤー・エデュケーション「World University Rankings 2025」  
「World University Rankings 2024」、 「QS World University Rankings2025」  
から作成)

### 評価手法にも変化が

THE 世界大学ランキングの評価法は、「教育(学習環境)」「(配点比率 29.5%)」、「研究環境」(同 29.0%)、「研究の質」(同 30.0%)、「企業との関係」(同 4.0%)、「国際性」(同 7.5%)の五つの指標をさらにそれぞれ複数の項目(全体で 18)に分けて点数(100 点満点)をつけ、総合点で順位づけしている。前々年までの評価法との最も大きな変更は、研究の質がより重視されたこと。被引用数の多い論文の数だけでなく、引用された論文の重要性が評価されるように変わった。さらに「企業との関係」では、大学の研究が引用された特許の数という新しい項目が加えられ、評価比重も 2.5%から 4.0%に高まった。こうした変更が前年のランキングで見られた日本の大学の順位向上に影響したとみられる。

世界大学ランキングでは、英国の高等教育評価機関「クアクアレリ・シモンズ(QS: Quacquarelli Symonds)」が毎年、公表しているランキングもよく知られる。こちらも前々年から評価法が一部変わっている。「学術関係者からの評判」(配点比率 30%)、「教員一人当たりの論文被引用数」(同 20%)、「雇用者からの評判」(同 15%)、「学生一人当たりの教員比率」(同 10%)。「外国人教員比率」(同 5%)、「留学生比率」(同 5%)、「持続可能性」(同 5%)、「雇用成果」(同 5%)、「国際研究ネットワーク」(同 5%)という配点比率となった。

THE 世界大学ランキングは QS ランキングと違い評価指標が 18 項目と倍以上多い。「博士号取得者と学士号取得者の比率」や「博士号取得者数と教職員数の比率」、さらに教員一人当たりの研究助成金などの収入、論文数、国際共著論文数、産業界からの収入といった QS ランキングにはない評価項目が含まれている。学術関係者や雇用主に尋ねた結果が大きな配点比率となっている QS ランキングと異なり、数字ではっきり示される定量的な評価指標が多い評価手法ともいえる。

オーストラリアの大学が今回、順位を下げた理由の一つとされた「評判」は、「教育(学習環境)」と「研究環境」に対して世界の有力な研究者を対象に実

施した調査で大学に対する評価を尋ねた結果を基にしており、配点比率はそれぞれ 15.0%と 18.0%という大きな比重を占める。

日文 小岩井忠道 (科学記者)

#### 関連サイト

Times Higher Education (THE) [「World University Rankings 2025」](#)

Times Higher Education (THE) [「World University Rankings 2024」](#)

Times Higher Education (THE) [「World University Rankings 2023」](#)

QS World University Rankings [QS World University Rankings 2025: Top Global Universities](#)

#### 関連記事

2024年06月21日 [2024年 THE 世界大学影響力排名：中等收入国家大学重视SDGs 获高评价，日本有2所大学进入前100名](#)

2024年06月11日 [QS 最新世界大学排名，日本的大学排名继续下滑，东京大学排到第32位](#)

2024年05月13日 [THE 发布 2024 亚洲大学排名，日本大学的排名普遍提升](#)

2024年02月20日 [THE 公布 2023 年世界大学声誉排名：东京大学位居第10，日本有10所大学入围前200](#)

2024年02月01日 [THE 公布全球国际化大学排名，日本高校排名全面下滑](#)

2023年12月22日 [多所大洋洲大学在“可持续性目标”排名中获得高度评价](#)

2023年10月10日 [THE 发布世界大学排名，前200名中有5所来自日本](#)